

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターかしのき園（指定日通園）		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同室療育なので、指導員の関わり方を見てもらうことができる。家庭での様子をお聞きし具体的なアドバイスができるので、家庭での取り組みに活かしてもらうことができる。	子どもの気持ちを代弁したり、関わり方の見本を見せたりすることで、保護者が子どもへの理解を深められるよう取り組んでいる。	療育以外の時間でも、保護者が困った時に電話などで相談できるようにする。
2	子どもの自由な遊びを元に療育しているので、子どものやりたい気持ちを大切に、子どもが楽しみながら苦手なことにも無理なく取り組むことができる。	発達段階や興味に合わせて様々な玩具を用意することで、子どもが自分で好きな玩具を見つけ遊ぶことができるようにしている。	子どものペースを大切にしつつ新しい遊びに挑戦することで興味の幅を広げられるよう、指導員から遊びを提案することも取り入れる。
3	個別の課題に取り組むことができる。	就学前に学習面でつまずきそうな課題がないか確認し、必要に応じて課題に取り組む時間を設けている。	学習面だけでなく、社会性・対人面の課題にもアプローチできる教材や関わり方を検討する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者のニーズが遅い時間に集中し、時間割の調整が難しい。欠席時の振り替いを希望されてもできないことがある。	働いている保護者が増えた。 他の事業所と並行して通う子どもが増えた。 早期から保育園や幼稚園などの集団に入る子どもが増えた。	時間割の設定時間の変更を検討する。
2	親子同室で送迎がなく、1時間の療育のため、来園のハードルが高い。	働いている保護者が増えた。	来園しやすい時間を考え、時間割の設定時間の変更を検討する。
3			